



エコシステムアカデミー

「エコシステムアカデミー」2013年の取り組み状況についてご紹介いたします。

定点観測カメラの設置

定点カメラの映像

定点観測カメラも設置後 3年が経過しようとしています。

凍てつく寒さから猛暑の中黙々と撮影を続けております。



(2011年 3月30日)



(2013年 1月 8日)



(2月 8日)



(3月21日)



(4月 18日)



(5月13日)



(6月28日)



(7月26日)



(8月21日)



(9月12日)



(10月31日)



(11月12日)



(12月12日)



定点観察カメラによると、昨シーズン最後の積雪は4月20日でした。
基本的に撮影したデータは1回/月のペースで回収しておりますが、雪の期間は困難を極めます。

日本野鳥の会佐藤理事長

5月13日、14日

昨年12月に予定されていた日本野鳥の会 佐藤理事長のご視察は直前の大雪で延期されましたが本年5月に実現致しました。

佐藤理事長には村火、欠入両社有林をご覧頂きましたが、野鳥はもちろんのこと、植物についても大変お詳しく、社有林の植生調査に意欲的に取り組んで頂きました。



FSC 年次監査

6月6日、7日

今年は七戸社有林での監査となりました。

昨年の監査では、欠入社有林の指摘を受けておりましたが、昨年のうちに積極的に出向いて下草刈り、下枝打ち等を行いましたので無事に監査を終える事ができました。

村火・欠入両社有林は、FSCの認証林です。



インストラクター養成教育

7月11日、12日 第5回インストラクター養成教育

9月10日、11日 第6回インストラクター養成教育

震災後の活動は主に維持活動としておりましたが、昨年秋頃より本格的な活動を再開し、西郷村のセカンドスクール等、社有林の案内や紙すき体験学習の指導の機会がますます多くなる事に対応し、新たにインストラクター・サポーターの募集を致しました。

7月に第5回、9月に6回目のインストラクター養成教育を実施し、早い方には早速秋のセカンドスクールの教育指導の場に参加して頂きました。



(第5回養成教育)



(第6回養成教育)



白河環境ミニセミナー＆白河スポーツ少年団教育

8月1日、2日 白河環境ミニセミナー＆白河スポーツ少年団教育

震災の影響で延期となっていた東京大学丹下先生の環境セミナーは、白河山荘でミニセミナーとして開催されました。



(丹下先生)



『森林の物質生産と環境保全』と題した講演には、板倉校長をはじめ、那須・甲子青少年自然の家新山所長、西白河地方森林組合、日本野鳥の会白河の棚邊事務局長、翌日のスポーツ少年団の環境教育指導に駆けつけてくれたインストラクターが受講致しました。

翌日は、本社権藤氏が率いるソフトテニスのスポーツ少年団 8名に対して社有林の案内、座学、紙すき体験学習を行い丹下先生にも、紙すきをご体験頂きました。



西郷村教職員スキルアップセミナー

8月22日 西郷村教職員スキルアップセミナー

昨年のセカンドスクールを担当したご縁で、今年も西郷村教職員のスキルアップセミナーを担当させて頂くこととなりました。

西郷村の幼稚園、小中学校の教職員約100名が午前・午後5つの講座から2つを選ぶ方式で、座学と紙すき体験学習を午前と午後の2回行い、人気の講座となりました。



七戸社有林 企業の森

10月4日

「エコアカ」活動の大きな目的の1つである営業支援の場として、七戸社有林の企業の森としての活用が考えられてきました。

七戸社有林 291ha のうち 10ha 程度を「エコアカ」活動に活用し、得意先に対して八戸工場見学とセットとして FSC 森林管理の学習や植林～育林までの体験学習を行う場として活用し、得意先との関係強化、FSC 認証紙の販売推進に役立てようとする取り組みです。

初めての試みとして、花王株式会社の方々を七戸社有林、八戸工場見学にご案内致しました。

七戸社有林の一部を整備して、将来的に観察路の整備や、展示林構築等を進めていく予定です。



感材工業会

10月4日

本社技術環境部のご紹介で感材工業会の田口常務をはじめとする技術・環境部会の方々に村火社有林をご案内致しました。当日は肌寒く、全員が作業着着用となりました。



JBIB（企業と生物多様性イニシアティブ）

10月11日

主に環境先進企業で「企業の森づくり」に携わるマネージャークラスの方々が視察にお見えになるとの事で、緊張致しました。住友林業、鹿島建設、清水建設、三菱地所とそれぞれ各社でも取り組みをされている言わば専門化集団で、貴重なご意見を伺う事もできました。社員やOBによって運営している事や社有林・白河山荘のロケーション、それらを利用して紙すき体験学習まで行える事、地元との協力関係の構築等について高い評価をいただきました。



野鳥による生物多様性に富んだ森づくり検討委員会

10月17日、18日

日本野鳥の会佐藤理事長が率いる野鳥による生物多様性に富んだ森づくり検討委員会の皆さんにご視察頂きました。

11月には環境セミナーで講演して頂く松田理事をはじめ独立行政法人森林総合研究所等の方々に、植樹・萌芽更新・実生による更新のほか、森の再生に野鳥がどう関わっているのか等の調査についての下見をして頂きました。村火社有林全体で今後調査の予定です。



環境セミナー

11月1日

当社と日本野鳥の会とのコラボレーションで11月に本社ギャラリーにて特別展示を行いました。そのオープニングセレモニーとして「エコシステムアカデミー環境セミナー2013」を開催しました。講演内容は、

- ・「森のめぐみと野鳥」 エコシステムアカデミー校長 板倉専務
- ・「私たちの身近にいる野鳥」 日本野鳥の会主席研究員 安西英明様
- ・「江戸のバードウォッチング」 日本野鳥の会理事 松田道生様

でしたが、松田様のお話では皆さんに江戸時代にタイムスリップしてバードウォッチングを楽しんでいただきました。会場にはお得意様をはじめ約100名の方が、全場所にはTV会議のシステムを使用して中継されました。



(安西主席研究員)

(松田理事)

福島県クリーンふくしま運動推進協議会県南地域協議会

11月8日

福島県県南振興局のご紹介で、クリーン福島推進協議会の皆様に午前中は座学を、午後は社有林と紙すき体験学習に分かれての環境教育を行いました。

参加人数が多く、青年の家から社有林までは青年の家のバスを利用させて頂き90分で社有林案内、紙すき体験学習を効率的に実施する事ができました。



野鳥による生物多様性に富んだ森づくり検討委員会 （筑波大学 中村名誉教授）

11月12日、13日

10月にご視察頂いた筑波大学津村教授のご紹介で、同大中村名誉教授に村火・欠入社有林をご視察頂きました。

来年の6月初旬には、日数を掛けて大掛かりな植生調査を実施する計画です。



羽太小学校セカンドスクール

11月20日

今年セカンドスクールは、日程の関係で羽太小学校のみとなりましたが、午前中に5年生20名を、村火社有林へ案内。午後からは、6年生14名が加わって座学と紙すき体験学習を一緒に行いました。幸いな事に、お集まり頂いたインストラクター全員で、社有林の案内、紙すき体験学習を行えたので、予定時間内に全ての行程をこなすことができました。

足踏みプレスは5つ、アイロン7台、アイロン台も5つに増強しての対応でしたが、ボランティアの学生の方、青年の家職員の方、羽太小学校教員の方々のご協力を頂き多人数への対応も充分可能であることが実証できました。





調査活動

今年も 1m 四方の標準地にアカマツの苗木が何本あるか等の調査活動を、春・夏・秋の 3 回に分けて実施致しました。調査活動の内容は、別紙にまとめて報告予定です。



(5月14日)



(8月1日)



(10月17日)

藍綬褒章

11月3日

本年秋の褒章が発表され、高田 SI が藍綬褒章を受章されました。

既に皆様ご承知の通り、2011年の環境大臣賞受賞に続く快挙となりました。

11月13日にはご夫婦で皇居豊明殿にて天皇陛下に拝謁しての受賞誠におめでとうございます。ご自宅にお邪魔しての撮影となりましたが、その名の通り藍色のリボンに吊るされたメダルが燦然と光り輝き、額縁は床の間に鎮座しておりました。

